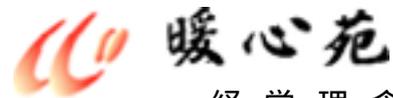


ひだまり



経営理念

- 一. 暖かい心と笑顔で、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- 一. 暖かい心と笑顔で、生きがいのある安心した生活が送れるよう支援します。
- 一. 地域との連携により、熟年者等の福祉・健康づくりを推進します。
- 一. 専門的な知識と技術をもった職員を育成します。

2012年(平成24年)7月6日 発行 第45号

〒134-8625 東京都江戸川区北葛西4-3-16 暖心苑



屋上庭園から望む東京スカイツリー

平成二十三年度 事業報告

《二十三年度事業総括》

未曾有の大災害となった東日本大震災の混乱と放射能・電力不安の続く中、二十三年度は波乱のスタートとなった。

なかでも原発の停止による首都圏の電力不足は深刻で、当苑でも照明の間引き空調の適正運転など節電に取り組み、前年度比約十%の電力を削減できた。

また首都圏直下型大震災に備え食料燃料介護用品等備蓄品の見直しを行防災力の強化を図るとともに被災地支援として五月に法人公用車を南三陸町の社会福祉協議会へ寄贈し、南相馬市からの被災者一名をデイサービスにて受け入れた。

特養にあつては、利用者の重度化が進み年間を通して平均介護度は四を下回ることがなく介護度四・五の利用者は七五%に達し、たその為二十三年度も入院者、死亡退所者が多く稼働率が低迷し、たが常勤医師の配置により、第4四半期は苑内の看取り体制が強化され終末期の入院加療を減らす事ができた。

デイサービスにおいては、通所系サービス事業者の増加によりここ数年目標を達成することができなかつたが、在宅サービスセンタ管理者の変更により新たな事業展開が期待できる年となつた。たまた地域包括支援センターのスタッフの努力により委託報酬が加算されたことは望外のことであつた。

全般的に稼働率・利用率が伸び悩む中一般管理費の節減に努力し前年度を上回る収支差額を得ることができた。

重点項目として、食の改善に取り組み、施設との連携・協働が密に可能な給食委託会社により四月より変更。体制の強化を図り、より良い食材の選定および食事作りに取り組み特養・デイサービスの利用者から好評を得ることができた。

介護職員の動向については、処遇改善交付金の支給および個人面談を年間通じて行い、退職者が減少した。

経年劣化が懸念されていた施設設備の大規模改修工事を東京都・江戸川区の助成のもと行った。

また計画的な修繕工事は、経常経費での修繕費の削減につながり収支差額の増の大きな理由の一つとなった。

1 事業経営の実績

特養部門は各種加算の取得や待機者の早期入所等に努めたものの、退所者及び入院者の増加により目標値を下回る結果となった。

ショートステイ部門については、新規利用者の積極的な獲得や直前キャンセル時の待機利用者への斡旋等により、目標値を上回った。

在宅部門については、利用者からの体調不良等による利用日直前のキャンセルや長期入院により利用率が下がり、目標値を下回る結果となった。

(1) 在宅支援事業

ア 通所介護（介護予防）事業及び地域密着型事業

通所介護事業は若干ではあるが利用者数が増加した。

予防通所介護・地域密着型事業は、冬期に体調不良・入院者が多く利用回数が減少した。

イ 地域包括支援センター事業の取り組みの充実

地域に潜在的にあるニーズを掘り起していく為に自治会・町会への訪問に力を入れ相談件数は前年度比三十%増加した。

ウ 介護予防事業の拡充

予防プランが前年度比九%増加し、利用者の自立支援を促進した。

エ 利用者アンケートの実施

アンケートを実施し、利用者・家族の声を反映した新しい選択プログラム（テーブルゲーム等追加し選択肢を増やした）の取り入れ等を行った。

2 利用者サービスの質の向上

(1) 利用者の安全対策

ア 事故予防対策の実施

指針に基づき、リスクマネジメント委員会が核となり、関係職種職員が連携して職員への周知徹底・教育を行った。今年度は、アクシデント件数は減少したが事故が十五件発生したため、各種対策を講じ再発防止に努めた。

イ 感染症管理対策の実施

指針やマニュアルに基づき、感染症対策委員会が核となり関係職種の職員が連携して予防対策を実施。冬場のインフルエンザの大流行により一部の利用者・職員間での感染はあったが、医師の指示による早期の対策に努めた結果感染の拡大は防げた。

ウ 身体拘束廃止への取組み

基本方針に基づき身体拘束廃止委員会が核となり関係職種の職員が連携して、緊急やむを得ない場合を除いて実施全面的な廃止に向けて取り組み一名の利用者への短時間の拘束のみとなった。

(2) 利用者への医療対策

ア 医療・看護体制の強化

手厚い非常勤配置医師体制から、十一月に念願の常勤医師を迎え、利用者の状態変化時の診断および家族等との面談実施・対応が可能となった。また看護職員の夜勤による二十四時間の看護体制の確保（月四回程度、オンコール実施時以外）のほか、必要に応じて協力病院・近隣の各病院に受診し診断・治療を行った。

イ 看取り介護の実施

指針に基づき利用者本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重して、十四人に対し、看取り介護を実施した。

ウ 褥瘡予防への対応

指針に基づき、褥瘡対策委員会が咳となり関係職種職員が連携して予防対策を実施。早期の発見・対応・処置により、軽度の段階で早期の治療が図れた。

3 経営の透明化及び情報公開

(1) 第三者評価の実施

「福祉サービス第三者評価」は、評価機関「NPO福祉経営ネットワーク」に依頼し平成二十三年九月から十二月にかけて実施した。

(2) 介護サービス情報の公表

今年度も介護サービス情報については、平成二十三年八月に調査機関「NPO法人ごとくの会」の訪問調査を受け、「とうきょう福祉ナビゲーション」に平成二十三年十一月に公開した。

4 地域との連携強化

(1) 地域支援ネットワーク事業の推進

地域行政機関・団体及び地域住民等の多様な社会資源と協働しながら地域の実情に応じた総合的な介護予防・支え合いを実践するため、地域包括支援センターを核とした地域支援ネットワーク事業を実施した。

- ① 介護予防教室の開催 六回
- ② 介護者交流会の開催 十二回

- ③ 地域交流委員会の開催 五回
- ④ 民生委員との懇談会 一回
- ⑤ サービス事業者情報交換会 二回

(2) ボランティア・見学者・実習生の受入れ

ボランティア活動	個人・各種団体・グループ活動	延べ活動人数 四〇〇一人(二一九人増)
訪問受入れ 体験学習・見学	保育園児・幼稚園児・小学生・その他団体の訪問・修学旅行生の体験学習	延べ訪問受入れ等 人数六二七人(二七人減)
養成校等の実習	専門学校の実習 ヘルパー養成校の実習	延べ実習人数 二四六人(七五人減)

5 人材育成・専門性の向上

研修別	施設内 研修	外部研修
回数参加 延人数	三三回 延べ二五九人	六五回 延べ七七人
研修 テーマ	新任研修・ケアプラン・褥瘡対策・身体拘束廃止・リスクマネジメント・感染症対策・腰痛予防インスリンについて等	階層別職員研修・ケアマネジメント研修・労務管理・口腔ケア・ボランティア・チームマネジメント・認知症介護・介護リーダー養成・タクティカル・事故防止・看取りケア・感染症対策・他施設見学等

6 大規模改修工事

二十三年度は、東京都の老人福祉施設整備費補助金事業に基づく大規模改修工事の実施により、建物及び設備機器等の維持改善を図ることができた。また、江戸川区への補助金申請により、補助金を受けることができた。

7 防災対策実施状況

未曾有の大災害となった東日本大震災の混乱と放射能・電力不足の続く中二十三年度は大震災を想定した各種対策・防災訓練を実施した。

震災対策として、専門の調査会社による耐震調査(二十三年八月)や江戸川区の建物点検(二十四年二月)を受け重量物・落下物の固定や備蓄品の見直し等、各種予防対策を講じた。BCP計画(事業継続計画)については、経営会議・防火管理委員会を中心に策定中であり、二十四年度に完成させ運用したい。

大規模修繕により、タイル落下防止の為の外壁補修や非常放送設備・防火シャッターの更新・改修によりハード面の強化も行った。備蓄品については想定人数・日数を拡大し、水食料品の見直しを図り増量し保管庫を整備した。大震災時における職員の初動体制として自動参集やマニュアルの整備を図り周知した。その他防災に関する研修やシンポジウムに積極的に参加した。

震災による被害を軽減するため
の対応訓練を二回実施した。
さらに冬期も避難訓練が必要と
の配慮で避難場所を屋内とし、
二月に実施した。
デイサービスセンター利用者
対象の避難訓練を各曜日ごとに
実施した。

8 施設管理

利用者に、安全で安心した生
活環境が提供できるよう、定期
的に委託業者および職員による
保守、点検、環境整備を実施し
た。

固定資産品では、東京都の補
助金事業による大規模改修工事
を実施した。修繕関係では、環
境整備を目的とした建具改修工
事その他、各種修繕工事を随時実
施した。

暖心苑 大規模改修工事について

開設後24年を迎え、その間
第1回目の大規模修繕等により
施設・建物の維持管理に努めて
きましたが、経年劣化による施
設・建物の修繕・更新が必要
となり、東京都および江戸川
区より助成を受け大規模改修
工事を行う事ができました。

改めて関係諸氏の皆様に御礼申し上
げます。

今回の工事では、昨年から大震災発生
が懸念される中、屋根・外壁補修、防
火シャッター補修、非常放送設備更新、
自家発電器オーバーホール等、防災面の
強化を図ることもできました。

工事中は、利用者・来苑者の皆様に
大変ご迷惑をお掛けしましたが皆様の
ご協力により大きなトラブルもなく竣
工できたことに深く感謝いたします。

今後は、既存の設備等は勿論、今回の
補助金事業で改修・更新した設備等に
ついては、計画的な維持管理により、
利用者の皆様に安心してご利用いた
けるよう努めていきます。

工事の内容

- 「共通仮設工事」①外部足場②その他
「建築工事」①屋根改修工事②外壁仕上
③外部シーリング④バルコニー塗装
⑤EXP・J工事⑥防火シャッター
挟まれ防止装置設置工事
「電気設備工事」①非常用発電機整備
工事②各動力盤内更新工事③非常
用照明装置更新工事
「給排水衛生設備工事」①給湯一次ポ
ンプ更新工事②上水揚水ポンプ
整備工事

③浴槽排水ポンプ更新工事④浴槽温度

制御計交換工事⑤貯湯槽温度調整機
更新工事⑥高架水槽更新工事

「空調設備工事」①冷却塔更新工事②各
室内ロスナイ更新工事③冷温水二次
ポンプ更新工事④冷却水ポンプ更新
工事⑤空調機加湿器更新工事⑥空調
機ドレイン管引き直し

「消防設備」①非常放送設備更新工事
「エレベータ設備工事」①エレベータ部
品更新工事

■工期・平成二十三年十月～平成二十
四年二月

■総工事費 一一二、九五〇、〇〇〇

■自己資金 五八、六九六、〇〇〇

■区・都補助金 五四、二五四、〇〇〇



平成24年度 永年勤続表彰者の紹介

このたび永年勤続表彰を受賞させていただきました。これも偏に、当苑をご利用くださる皆様やご協力いただく関係者の皆様をはじめ、全職員のご協力とご理解の賜物であると思っております。今後も、笑顔と感謝の心を胸に業務に邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

20年勤続
所長 藍野

20年勤続
主任看護職員 宮内

20年勤続
看護職員 渡辺

20年勤続
主任相談員 築場

10年勤続
相談員 仲本

10年勤続
副主任補佐相談員 鯨井

問い合わせ・お申込みは
熟年相談室 暖心苑
(担当/田谷・藤田善)
連絡先

03-3877-0181

**申し込み
受付中です!**



ひだまり配食サービスのご案内

暖心苑では在宅で生活しているお一人暮らしの熟年者の方や、熟年者の方のみの世帯の方で身体的に虚弱な方を対象に、配食サービスを実施しております。栄養士の献立により、普通食の他、糖尿病食、減塩食を温かいままお届けしてあります。そして、配食スタッフがお届けすることで不安感や孤独感を解消します。

■対象となる方／65歳以上の一人暮らしの方(日中独居を含む)又、熟年者の方のみの世帯で食事を作る事が困難な方

■配達日／月々金曜日(土日、祝日、年末年始は休み)費用／1食600円(昼食のみ)※月末締め翌月の5日に集金させていただきます。

■食事内容／普通食、お粥、キザミなど個々の状態に合わせた食事を保温食器でお届けします。

■配達地域／暖心苑圏域となります。(事前にご確認下さい)

～今年の4月に介護報酬 が改正されました～

主な改正点は以下のとおりです。

- ・基本報酬の引き下げ
 - ・地域係数（報酬単価掛け率）の見直し
 - ・介護職員の処遇改善が補助金から加算支給へ（利用者1割負担）
- 全体として、マイナスの改定となりましたが、サービスの質を落とすことなく、『暖かい心と笑顔』で、楽しく過ごしていただける様に支援していきます。

苦情解決第三者委員の紹介

暖心苑、デイサービスご利用の皆さまからのご相談、要望など、何でもお気軽に声をかけて下さい。

横内 委員

島村 委員

特養

お花見会

春のうらかな中、お花見に出かけています。
桜の花びらが、ひらひらと舞い落ちるのを見ると、なかホッとさせられますね。



外食会

華屋与兵衛にて外食会を実施しています。
ご家族の方も一緒ということ、和気あいあいとした様子でした。



熱中症対策について

熱中症に注意し、元気に夏を乗り切りましょう。

80歳代以上はリスクが7倍。

予防法を知っていれば防ぐことができ、応急処置を知っていれば救命できます。

熱中症は予防が大切

・屋外では帽子や日陰を利用し、暑さを避ける

・手元に水分を置き、二時間おきに、こまめに飲む（ひとくちでも可）

・高齢者は、日中に屋内で発症される方が多い為、部屋に温度計を置いて、こまめにチェック。室温が高い時は、風を通す。服を調節するなど。

・早め早めに対策をして、体内に熱がこもらないようにしましょう。

梅雨明けの湿度が高く、急に気温が上がった日は要注意

暑さに慣れるには、2週間必要です。その為、熱中症になりやすく、脱水状態だと、更に危険性が増します。

暑さ対策と、日頃から、こまめな水分補給を心がけましょう。

一般・予防デイサービス

介護保険内サービス
(要支援 1.2 要介護 1~ 5の方)



熟年ふれあいセンター (清新町)



ご興味のある
方はぜひ一度
見学にいらし
て下さい。
お待ちしております。

認知症対応型デイサービス



いきいきトレーニング (苑内)



暖心苑さわやか相談室居宅支援事業所

ご利用者様・ご家族様が、住み慣れたご
自宅で・・・・・・・・。
いきいきと生活ができる。ご自分らしく
生活できる。安心して生活ができる。
そんな生活を送っていただけるよう、
4名の職員で日々がんばっております！

小林 藤田 中井 折田

地域包括支援センター (熟年相談室) からのお知らせ

区民の方に地域包括支援センターのことを
もっと知っていただき、ご利用いただくた
めに愛称がこのたび「熟年相談室」と決ま
りました。
暖心苑熟年相談室も4月より新しく相談員
が1名増え、よりきめ細やかな相談対応が
できるように職員一同努めていきます。
(担当 高橋、仲本、諏訪、田谷)

新任相談員 藤田

地域の熟年者の皆様が住み慣れた地域で、
健康で安心して暮らし続けられるようサ
ポートしてまいります。
まだまだ未熟者ですがよろしくおねがい
します。

今後の予定
7月25日(水)
介護者交流会
「認知症サポート医
を招いて」
場所: 暖心苑

本誌は、「東京都共同募金会江戸川地区協力会」より、地域福祉活動費として受けている助成金を活用して作られています。今後も、皆様に楽しんで頂ける誌面づくりに努めてまいります。共同募金にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

これからの主な行事

- 7月31日（火）：納涼盆踊り大会**
～1階ホール
- 8月19日（日）：ビアホール**
～1階ホール
- 9月16日（日）：笑顔いっぱい長寿の集い
「暖心苑まつり」**
～1階ホール

通信欄

様のご家族へ（記入日： / 日）

利用者担当

編集後記

本号は如何でしたか？これから暑さが厳しくなりますが、こまめな水分補給や塩分補給など、熱中症対策に留意され、皆様お身体に気をつけてお過ごし下さい。

社会福祉法人 東京清音会
特別養護老人ホーム 暖心苑
暖心苑デイサービスセンター
暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所
地域包括支援センター暖心苑さわやか相談室
〒134-8625
東京都江戸川区北葛西4-3-16
TEL 03-3877-0100 FAX 03-3877-0188
TEL 03-3877-0181（さわやか相談室直通）
<http://www.danshinen.org/>